

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公開番号】特開2011-237744(P2011-237744A)

【公開日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-047

【出願番号】特願2010-111529(P2010-111529)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

B 6 5 H 20/32 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 1 8

G 0 3 G 15/20

G 0 3 G 21/00 3 7 2

B 6 5 H 20/32 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月13日(2013.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

像担持体と、該像担持体に形成されたトナー像をシートに転写する転写部と、シートに転写されたトナーを定着する定着部と、該像担持体と該定着部とを回転させて、該転写部から該定着部へ該シートを繰出す駆動部とを有し、

前記転写部と前記定着部との間には、前記シートの繰出しにより生じる前記シートのたるみを吸収するバッファ機構が設けられ、

前記バッファ機構は、繰出された前記シートを受け、このシートを定着部にガイドするガイド部と、前記シートがたるみのない状態で搬送される正規位置と前記シートにたるみが発生した状態で搬送される作用位置とに前記前記ガイド部をシフトさせる作動部とを有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記像担持体への前記シートを搬送する搬送部を有し、

前記作用位置は前記シートの先端が前記定着部を通過した時にシフトし、前記正規位置は前記シートの後端が前記定着部または前記搬送部を通過した時にシフトすることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記像担持体、前記定着部、前記搬送部、前記作動部の駆動は、一つの駆動部であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記問題を解決するために、本発明は、請求項１において、像担持体と、該像担持体に形成されたトナー像をシートに転写する転写部と、シートに転写されたトナーを定着する定着部と、該像担持体と該定着部とを回転させて、該転写部から該定着部へ該シートを繰出す駆動部とを有し、転写部と定着部との間には、シートの繰出しにより生じるシートのたるみを吸収するバッファ機構が設けられ、バッファ機構は、繰出されたシートを受け、このシートを定着部にガイドするガイド部と、シートがたるみのない状態で搬送される正規位置とシートにたるみが発生した状態で搬送される作用位置とにガイド部をシフトさせる作動部とを有することを特徴とする

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

さらに、請求項２において、像担持体へのシートを搬送する搬送部を有し、作用位置は前記シートの先端が定着部を通過した時にシフトし、正規位置はシートの後端を通過した時にシフトすることを特徴とする。また、さらに、請求項３において、像担持体、定着部、搬送部、作動部の駆動は、一つの駆動部であることを特徴とする。